

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業一覧(令和5年度実施計画分)

(単位:円)

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費	補助対象 事業費	交付金充当額	国庫補助額	起債額	その他 (一般財源等)	補助対象 外経費	①成果・実績 ②効果・評価
1	単	低所得世帯支援事業【低所得者世帯給付金】	①コロナ禍において物価高が続く中で住民税非課税世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。 ②低所得者世帯支援に必要な経費 ③対象2,954世帯×3万円 ④R5年度住民税均等割非課税世帯(2,954世帯)	R5.6	R5.11	88,590,000	88,590,000	88,590,000	-	-	-	-	①給付件数 2,953世帯 ②コロナ禍で原油価格・物価高騰等の影響を受ける低所得者世帯を支援することができた。
2	単	低所得世帯支援事業(事務費)	①コロナ禍において物価高が続く中で住民税非課税世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持するにあたって必要な事務経費。 ②低所得者世帯支援に必要な事務経費 ③事務費8,500千円 時間外300千円、消耗品 400千円、印刷製本 200千円、郵送料 1,400千円、手数料 1,300千円、委託料 4,750千円、複写機借上 150千円 ④R5年度住民税均等割非課税世帯(2,954世帯)	R5.6	R6.2	3,780,410	3,780,410	3,780,000	-	-	410	-	①給付件数 2,953世帯 ②コロナ禍で原油価格・物価高騰等の影響を受ける低所得者世帯を支援することができた。
3		(欠番)											
4		(欠番)											
5		(欠番)											
6		(欠番)											
7		(欠番)											
8	単	医療施設等支援事業	①コロナ禍において、物価高騰等の影響を受ける医療機関等の事業継続を支援するため、施設規模・種類に応じた交付金を交付する。 ②医療機関等に対する交付金に充当 ③交付金:7,300千円 クリニック等:61事業所×100千円=6,100千円 病床数:50人未満 1事業所×200千円=200千円 50人以上 2事業所×500千円=1,000千円 ④市内医療機関等	R5.6	R5.9	7,300,000	7,300,000	7,300,000	-	-	-	-	①補助件数 64件 ②コロナ禍で原油価格・物価高騰等の影響を受ける医療機関等の事業継続を支援することができた。
9	単	介護施設等支援事業	①コロナ禍において、物価高騰等の影響を受ける介護サービス事業所の事業継続を支援するため、施設規模・種類に応じた交付金を交付する。 ②介護サービス事業所に対する交付金に充当 ③交付金:9,500千円 居宅系事業所:50千円×13事業所=650千円 訪問系事業所:50千円×19事業所=950千円 通所系事業所:100千円×17事業所=1,700千円 入所系事業所 施設定員10人未満:100千円×3事業所=300千円 施設定員10人以上50人未満:300千円×7事業所=2,100千円 施設定員50人以上80人未満:500千円×2事業所=1,000千円 施設定員80人以上100人未満:800千円×1事業所=800千円 施設定員100人以上:1,000千円×2事業所=2,000千円 ④市内介護サービス事業所	R5.6	R5.9	8,900,000	8,900,000	8,900,000	-	-	-	-	①補助件数 37件 ②コロナ禍で原油価格・物価高騰等の影響を受ける介護サービス事業所の事業継続を支援することができた。

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要（実施計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	補助対象事業費					補助対象外経費	①成果・実績 ②効果・評価
								交付金充当額	国庫補助額	起債額	その他 （一般財源等）		
10	単	障がい福祉サービス施設支援事業	①コロナ禍において、価高騰等の影響を受ける障がい福祉サービス事業所等の事業継続を支援するため、施設規模・種類に応じた交付金を交付する。 ②障がい福祉サービス事業所等に対する交付金に充当 ③交付金：3,650千円 訪問系事業所：50千円×3事業所＝150千円 通所系事業所：100千円×9事業所＝900千円 入所系事業所 施設定員10人未満：100千円×4事業所＝400千円 施設定員10人以上50人未満：300千円×3事業所＝900千円 施設定員50人以上80人未満：500千円×1事業所＝500千円 施設定員80人以上100人未満：800千円×1事業所＝800千円 ④障がい福祉サービス事業所等	R5.6	R5.9	2,900,000	2,900,000	2,900,000	-	-	-	-	①補助件数 12件 ②コロナ禍で原油価格・物価高騰等の影響を受ける障がい福祉サービス事業所等の事業継続を支援することができた。
11	単	児童福祉施設等支援事業	①コロナ禍において、物価高騰等の影響を受ける障がい児通所支援事業所等の事業継続を支援するため、施設規模・種類に応じた交付金を交付する。 ②障がい児通所支援事業所等に対する交付金に充当 ③交付金：2,600千円 私立こども園：500千円×1事業所＝500千円 私立保育園：300千円×2事業所＝600千円 私立地域型保育事業所：200千円×2事業所＝400千円 放課後児童クラブ 学校施設利用クラブ以外：200千円×2施設＝400千円 学校施設利用クラブ：100千円×5施設＝500千円 障害児通所支援事業所：100千円×2事業所＝200千円 ④市内障がい児通所支援事業所及び放課後児童クラブ、私立保育園等	R5.6	R5.8	2,500,000	2,500,000	2,500,000	-	-	-	-	①補助件数 12件 ②コロナ禍で原油価格・物価高騰等の影響を受ける障がい児通所支援事業所等の事業継続を支援することができた。
12	単	飼料購入支援事業	①コロナ禍において、物価高騰等の影響を受ける牛飼育農家の事業継続を支援するため、粗飼料（乾牧草）価格の高騰相当分を補助する。 ②粗飼料（乾牧草）購入費高騰分に対する補助金に充当 ③補助金：19,841千円 1日の粗飼料消費量（県畜産研究所調べ）：t 乳用牛0.01 繁殖雌牛0.007 肥育牛0.0025 子牛0.00125 乾牧草輸入価格（財務省貿易統計）：円/t R3.4～7月平均価格40,789 R4.4～7月平均価格57,549 差額16千円/t 乳用牛：136頭×0.01t×365日×16千円＝7,942,400円 繁殖雌牛：175頭×0.007t×365日×16千円＝7,154,000円 肥育牛：271頭×0.0025t×365日×16千円＝3,956,600円 和牛子牛：143頭×0.00125t×260日×16千円＝743,600円 乳用子牛：6頭×0.00125t×365日×16千円＝43,800円 ④市内牛飼育農家9戸	R5.6	R5.8	16,815,255	16,815,255	16,810,000	-	-	5,255	-	①補助対象農家 9戸 ②粗飼料（乾牧草）価格の高騰等の影響を受ける牛飼育農家に対し、事業を継続する支援として補助を行った。農家8戸は事業を継続しているが、1戸は厳しい経営を回復することができず、廃業することとなった。

[illegible]

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要（実施計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費	補助対象事業費					補助対象外経費	①成果・実績 ②効果・評価
								交付金充当額	国庫補助額	起債額	その他 （一般財源等）		
27	単	幼稚園等副食費無償化事業	①新型コロナウイルス感染症の影響に加え、物価高騰に直面する保護者の負担軽減を図るため、副食費を無償化する。 ②3歳以上児の副食費の無償化(令和5年11月～令和6年3月の5ヶ月分)に要する経費 ③公立幼稚園：(諸収入)園児給食実費弁償金(650人分) 12,000千円 私立保育園等：私立保育園等補助金(130人分) 3,500千円 ④市内幼稚園等(私立も含む)に通う3歳以上の園児	R5.9	R6.3	1,831,500	1,831,500	1,830,000	-	-	1,500	-	①対象園児数 80人 ②コロナ禍で原油価格・物価高騰等の影響を受ける子育て世帯を支援することができた。
28	単	子育て世帯生活応援給付事業(物価高騰対策)	①コロナ禍において物価高騰に直面する子育て世帯への支援を行うことで、子育て世帯の負担軽減を図る。 ②子育て世帯への給付金及び事務費 ③給付金額125,00千円 18歳以下のこども 5,000人×25千円 事務費 1,800千円 事務費の内容 [需用費300千円(消耗品費、印刷製本費)、役務費1,500千円(郵送料、手数料)] ④子育て世帯 (2,600世帯)	R5.12	R6.3	47,403,123	47,403,123	40,647,000	-	-	6,756,123	-	①給付件数 2,887件(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金分を含む) ②コロナ禍で原油価格・物価高騰等の影響を受ける子育て世帯を支援することができた。
29	単	子牛生産者経営支援事業(物価高騰対策)(重点支援分)	①コロナによる外食需要の減少による枝肉価格の低迷が肥育農家の経営を圧迫している。子牛の買い控えも影響し、子牛価格の下落、低迷により市内繁殖農家の経営に深刻な影響を与えているため、市内繁殖農家に支援を行う。 ②子牛価格高騰分に対する補助金に充当 ③補助金：18,300千円 183千円/頭×100頭 (H29～R3平均価格 773千円 R5販売価格(4～10月)平均 590千円) ④市内繁殖農家5戸	R5.12	R6.3	16,806,000	16,806,000	16,806,000	-	-	-	-	①補助対象農家 5戸 ②コロナによる外食需要の減少による影響を受ける農家に対し、事業を継続する支援となった。
30	単	子牛生産者経営支援事業(物価高騰対策)(通常分)	①コロナによる外食需要の減少による枝肉価格の低迷が肥育農家の経営を圧迫している。子牛の買い控えも影響し、子牛価格の下落、低迷により市内繁殖農家の経営に深刻な影響を与えているため、市内繁殖農家に支援を行う。 ②子牛価格下落分に対する補助金に充当 ③補助金：18,300千円 183千円/頭×100頭 (H29～R3平均価格 773千円 R5販売価格(4～10月)平均 590千円) ④市内繁殖農家5戸	R5.12	R6.3	30,000	30,000	30,000	-	-	-	-	No.29と同様
合計						211,168,288	211,168,288	204,405,000	-	-	6,763,288	-	